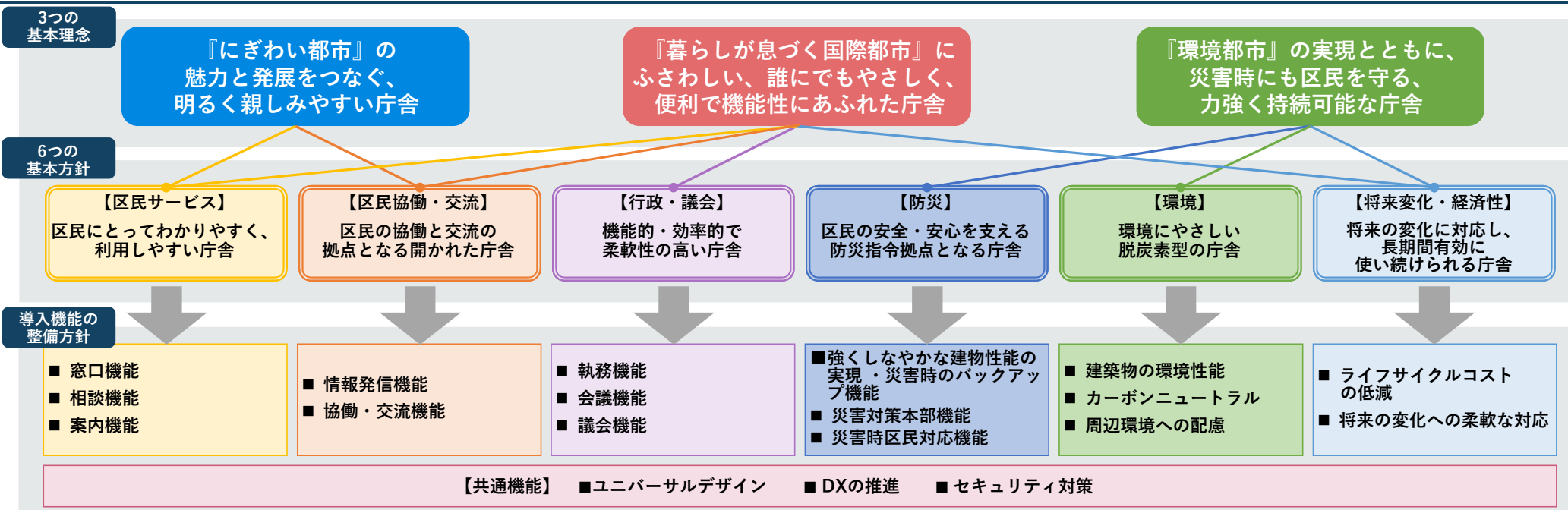


1. 基本理念・基本方針・導入機能の考え方

■基本構想における基本理念・基本方針・導入機能の考え方



2. 建設想定規模

■新庁舎建設想定規模および現庁舎との比較

○新庁舎建設想定規模

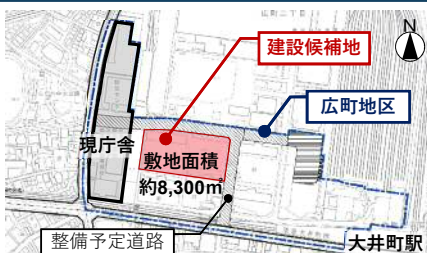
区分	面積
行政・防災・議会機能など	約37,000㎡
屋内駐車場	約11,000㎡
国および都の機関（調整中）	約10,000㎡
協働・交流機能	約2,000㎡
合計	約60,000㎡

○現庁舎規模

区分	面積
区(本庁舎・議会棟・第三庁舎)	約18,000㎡
区（第二庁舎）	約12,000㎡
駐車場	約9,000㎡
国および都の機関（使用面積）	約7,000㎡
合計	約46,000㎡

3. 建設候補地

■建設候補地の位置

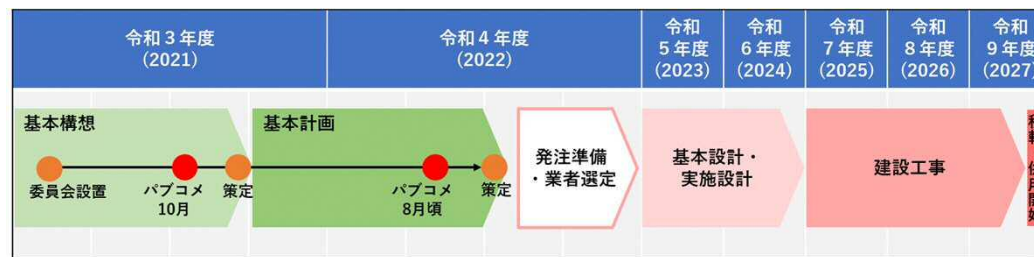


■建設候補地の現況



4. 事業スケジュール

■現段階での想定スケジュール



5. 概算事業費

■現段階での想定概算事業費

概算事業費（税込）		
調査・設計費	約20億円	施工監理費含む
建設工事費	約360億円	60万円/㎡×60,000㎡ ※単価は他区事例より想定
外構工事費	約20億円	歩行者デッキなど
合計	約400億円	

品川区新庁舎整備基本構想（素案）パブリックコメント結果概要

1. パブリックコメントの概要

○パブリックコメントの目的

・今回の基本構想のように、品川区がこれから策定しようとしている計画などを案の段階で広く区民へ公表して意見を募集し、その意見に対して区の考え方を示したうえで、計画に反映させます。

○意見募集期間

・令和3年10月1日（金）～25日（月）

○結果公表時期

・令和4年1月頃

○結果

・ **48名**の方から、**126件**（再掲を含む）のご意見が寄せられました。

①検討の経緯について	2件
②現庁舎の現状と課題について	13件
③整備方針について	56件
④建設計画について	15件
⑤事業計画について	7件
⑥その他	33件

2. パブリックコメントの意見（抜粋）

該当する章	項目	主な意見
1章 検討の経緯	上位計画との関連	・SDGsを意識した庁舎にしてほしい ・新庁舎整備は、広町地区の再開発とは別個のものとして進めるべき
2章 現庁舎の現状と課題	建て替え反対	・現庁舎は耐震工事を実施したので、まだ使える ・区民の税金を無駄に使うだけで建て替えには反対
	建て替え賛成	・地震など何か有ったら大変なので、すぐにでも建て替えるべき
3章 整備方針	基本理念・基本方針	・品川区の魅力を高める新庁舎としてほしい ・健康・医療支援を含めた危機管理としての安全・安心とすべき
	区民サービス	・自宅からリモート会議システムで相談できるように ・窓口は、プライバシーを重視したつくりしてほしい
	区民協働・交流	・「行きたくなる区役所」を目指してほしい ・品川区民が気軽にくつろげる場を整備するべき
	行政・議会	・働いている職員のモチベーションをあげる機能も必要 ・区民に開かれた議会の整備を強く望む
	防災	・ 感染症予防に対応できる庁舎を期待する ・避難者の誘導、災害情報の提出などを街ぐるみで行っていくことを望む
	環境	・再生エネルギーを最大限生かした建築を整備すべき ・新庁舎になってからも太陽光パネルによる無料充電サービスを望む
	D Xの推進	・区役所や区議会の資料を、庁舎内外でペーパーレスで見られるようにしてほしい
	障害者雇用	・障害がある方も様々な業務で共に働き、共に生きる庁舎を目指してほしい
4章 建設計画	高層建築に反対	・防災拠点の面を重視すれば、低層の建築にするべき ・高層建築物とならざるを得ない土地との交換は納得できない
	自然環境など	・都市に住む私たちに一番必要なのは自然や広場である ・自然環境を大胆に取り入れたランドスケープデザインを望む
5章 事業計画	事業手法	・P F I方式を選択した場合、民間主導のため区民目線の事業が行われないのではないか
	費用	・ 費用の効率的な使用をお願いしたい ・高層建築にするとその維持費は低層よりも高額になるのではないか
その他	区民周知・意見募集	・品川区民へもっと十分に周知させるべき ・より多くの方々の想いやアイデアを新庁舎に取り込んでほしい
	周辺地域・周辺開発	・大井町駅方面から人の流れをつくり周辺地域を活性化して欲しい ・庁舎とその周辺で魅力あるイベントなどの開催を望む